

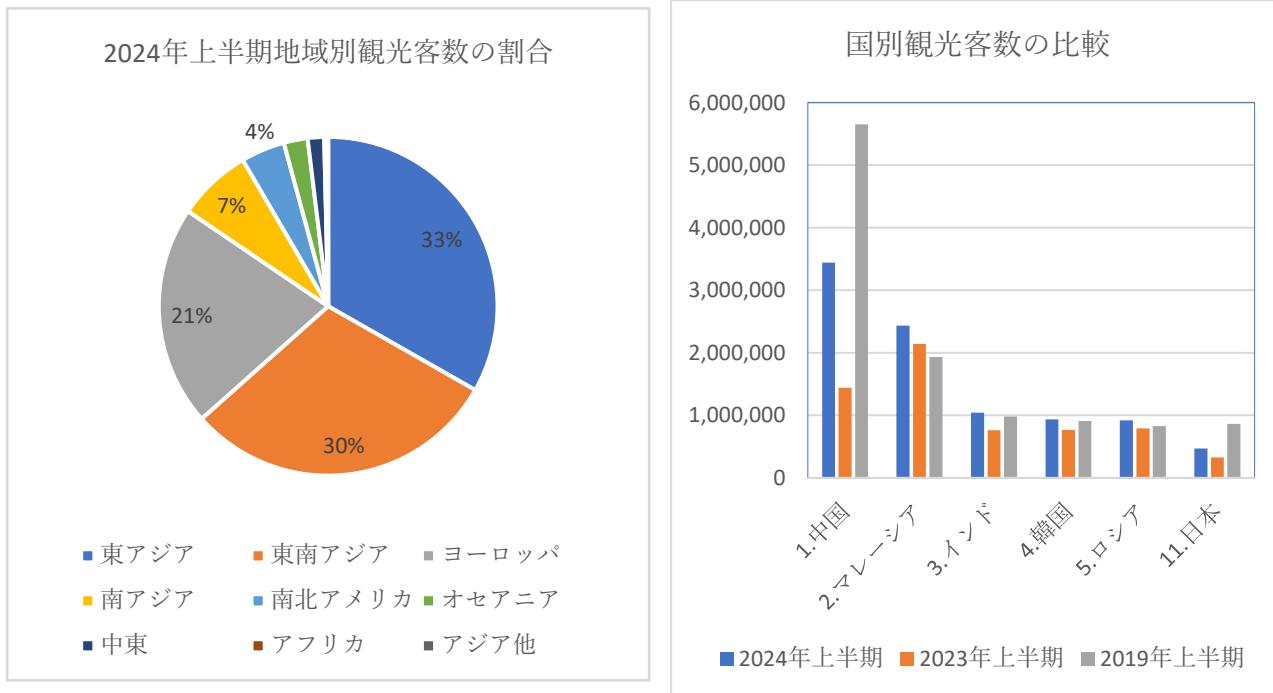
2024年タイにおける外国人観光客回復の現状

今年に入り、バンコクでは最近一時的に少なくなっていた日本人旅行者の方も数多く見かけるようになりました。そこで、今回はタイにおける外国人観光客回復の現状についてレポート致します。

観光業はタイの産業を大きく支えるものであり、以前から人気の旅行先として知られていました。コロナ禍直前の2019年、タイでは海外からの観光収入が600億ドルを超えて世界第4位となっていました。しかしながら、世界的なパンデミックの影響で、GDPに占める観光客からの収入の割合は、2019年には約16.2%だったところが、2020年には約5.1%、2021年にはわずか約1.5%となり、大きなダメージを受ける事になりました。

とはいっても、2021年11月にワクチン接種完了者に対して隔離なし入国を認める『Test & Go』が開始されて以降は、ほぼ一貫して外国人観光客の増加が続いていました。2023年時点でも外国人来訪者数は前年比で2.5倍となるおよそ2810万人となり、2019年（約4,000万人）との比較では7割強の水準まで回復していました。

また、2024年上半期の観光客がどこの地域や国から来たかをまとめた表が下記となります。



※国名の頭の数字は、2024年上半期の観光客数ランキング

アジアの周辺国からの観光客数が大きく伸びている中、日本人観光客の数は2019年上半期に国別順位で6位を記録した864,379人と比べて半分以下に減少して、2023年上半期では15位まで落ち込みました。円安の影響が大きいとされますが、2024年上半期のデータでは、11位まで上昇しています。

1 位の中国人観光客の数も 2024 年上半期になってようやく 2019 年上半期の 6 割ほどまで回復しました。

2024 年上半期時点でも、すでに 1,750 万人の外国人観光客が訪れ、世界的に海外旅行に対するモチベーションがコロナ禍前を目指すかのように回復してきています。タイ政府は、2024 年の総外国人観光客数「4,000 万人」と観光業での総収入「3 兆 5,000 億バーツ（約 14.8 兆円）」を目標としているとの事です。これにより得られた収入を活用し、タイ政府は観光エリアを中心に整備を進め、観光客がより安心して快適に滞在できる環境を整えていく方針を発表しています。タイにおいても景気は良くない状況ですが、こと観光業においては確固たる地位を築いていると言えそうです。